



ASIS インターナショナル日本支部  
広報担当理事 長瀬 泰郎



## ASIS インターナショナル日本支部便り

### 月次セミナー 2 月度 「無法地帯のインターネットから身を守る方法」

2月の月次セミナーは、1月に続きコロンビアミュージックエンタテインメント情報セキュリティコンサルタント、ニール・ボトナク氏が担当しました。

1月の講演で氏は、敵意に満ちているインターネット環境がいかに危険か、また、その世界の中で「セキュリティは幻想 (Security is an Illusion.)」と述べるなど、悲観的な話が主でしたが、今回は、自分と会社の PC を守る方法を具体的に伝授してくれました。

では、「CTO in the box」(びっくり箱から飛び出す情報セキュリティ幹部)の異名をもつボトナク氏の奥深い話をどうぞ。



講演するニール・ボトナク氏

#### ■基本原則

① 基本学習によるレベルアップをお勧めサイト

<http://www.microsoft.com/protect/default.aspx>

<http://www.microsoft.com/japan/protect/default.aspx>

[http://www.cert.org/homeusers/HomeComputer Security/](http://www.cert.org/homeusers/HomeComputerSecurity/)

② 会社の IT 担当のレベルアップを

<http://www.sans.org/>

<http://www.owasp.org/>

<http://www.schneier.com/>

③ 定期的にパッチをあてる(OS 自動機能利用)

④ パスワードのセキュリティ強化を

- ・ 辞書にある言葉は使わないこと(ハッカーは用語集を作っている)

- ・ シンボルを使うとセキュリティレベルが格段に上がる(受講者に簡単で安全な方法を伝授)

- ・ どうしてもパスワードをメモしたいなら、財布の中にしまっておく

- ・ ファイアフォックスの「マスターパスワード」機能を使うとよい

- ・ <http://www.schneier.com/passsafe.html> は有効



シンボルを使うパスワードを教わる出席者

⑤ ダウンロードしたファイルを使わない(セットアッププログラムが PC を支配するおそれ)

⑥ 不審メールに注意(特に添付ファイル、銀行からのメール)

⑦ 使わないプログラムは停止するか削除する

■各 OS の強みと弱み

① Windows

- ・ かなり良くなっているがまだやるべきことはある。
- ・ Windows XP2 (SP2 以上)か Vista だけ使うこと

② Mac OS X

- ・ 現時点では問題が少ないが攻撃のターゲットになっていないために実戦経験が少ない。

③ Linux

- ・ 実績ベースでは他の OS より良好。特にサーバー環境ではよい。
- ・ 市販ソフトウェアでは Ubuntu、OpenSuSE など

■PC 用ツール

① ファイアウォール

- ・ 直接攻撃から守る。
- ・ 最新 OS に組み込まれている。
- ・ 許可したトラフィックについての防護は出来ない
- ・ 市販ソフトでは Norton Internet Security、Zone Alarm などがある。

② ウィルス対策ソフトウェア

- ・ 感染したファイルから守る。
- ・ 自動機能で毎日アップデートすること
- ・ Mac OS X や Linux には不要
- ・ 市販ソフトでは Kaspersky Anti Virus や Norton Anti-Virus などがある。

③ スパイウェア対策ソフトウェア

- ・ ウィルス以外の悪いプログラムを見つけて除去
- ・ プライバシーを脅かすクッキーなどの設定を除去
- ・ 週 1 回は自動でアップデートすること
- ・ 定期的またはソフトウェアをインストールしたときにチェック
- ・ 市販ソフトウェアでは AdAware、Spyware Doctor などがある。

④ スпам・フィッシング対策ソフトウェア

- ・ スパムの量を減らす。
- ・ フィッシングメールを危険なものとしてマークをつける。
- ・ メールクライアントのほとんどにビルトインされている。
- ・ 市販ソフトウェアでは Cloudmark Desktop、Google Toolbar、McAfee SiteAdvisor などがある。

る。

⑤ 磁気ディスクの暗号化

- ・ 盗まれたり紛失した PC からの情報漏洩防止
- ・ PC が起動していないときに働く。
- ・ OS に付いてくることがある。
- ・ 市販ソフトウェアでは Bitlocker Drive Encryption、BestCrypt などがある。

■ ネットワーク／企業用ツール

① ファイアウォール

- ・ 個別マシンではなくネットワークを保護する。
- ・ 使うには特別の訓練が必要
- ・ 市販ソフトウェアでは Astaro、IP Cop、Checkpoint などがある。

② 仮想私的通信網 (VPN)

- ・ 遠隔 PC が企業ネットワークにアクセスできる。
- ・ 異なるネットワークを安価に結び付けられる。
- ・ インターネットに依存
- ・ 市販ソフトウェアでは Astaro、OpenVPN、Checkpoint などがある。



熱心に聴く参加者

③ アクセス制御ソフトウェア

- ・ ファイルへのアクセスを制御する基本ツール
- ・ すべての OS に組み込まれている。
- ・ 正しい設定に手間がかかり使いこなしにくい。

④ 集中ウィルスチェッカー

- ・ 着発信メールのすべてをチェックする。
- ・ ファイルサーバー内のすべてのファイルをチェックできる。
- ・ ユーザーに依存しない。

- ・市販ソフトウェアでは Symantec Anti-Virus for Messaging、Symantec Anti-Virus for NAS、Kaspersky Open Space Security などがある、

#### ⑤ 監査ツール

- ・攻撃が始まる前に脆弱性確認を支援する。
- ・セキュリティ対策で見過ごされやすい分野
- ・シンプルなスキャナー
- ・自動ハッキングツール
- ・教育の場
- ・市販ソフトウェアでは、nmap、Core Impact などがある。

#### ■ ツールについての一般事項

- ・紹介した各ツールは複雑なパズルの一部しか解けない。
- ・100%効果的なツールはない。
- ・どのツールでもバイパスされてしまう道がある。
- ・複層的なセキュリティが最も効果的
- ・「社会的エンジニアリング」によってバイパスされてしまうことがある。

#### ■ まとめ

- ・自己研鑽が必要
- ・注意を怠らず常に疑いの目で
- ・ツールを活用しても頼り過ぎないこと
- ・強いパスワードを使うようにすること
- ・コンピューターセキュリティは奥が深い。

次回3月18日のセミナーは、PFI 事業者に対する要求水準策定のコンサルタントでいらっしゃるCBX-JAPAN、マーケティングマネージャー山本清子氏に「ファシリティマネジメントサービスにおけるリスクアセスメントの実際」と題してお話していただきます。

#### ■ ASIS インターナショナル日本支部

ASIS インターナショナル日本支部は次のように積極的な活動を展開しています。

- 1) 月次セミナーの定期開催
- 2) セキュリティ専門家(特に在日外国企業のセキュリティ責任者)との情報交換

- 3) 事業継続計画の専門家との情報交換
  - 4) 公的機関セキュリティ専門家との情報交換
- 日本支部入会のメリットは次のとおりです。

- ・月刊誌「セキュリティ・マネジメント」の購読
- ・月刊誌「月刊セキュリティ研究」の購読
- ・各種ボランティア活動への参画

このコーナーへのお問い合わせや入会お申込みは  
ASIS インターナショナル日本支部 事務局まで

〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-2-17  
日本保安人事株式会社内  
TEL 03-3255-3468 FAX 03-3258-7630  
E-Mail [info@asis-japan.org](mailto:info@asis-japan.org)/  
[www.asis-japan.org](http://www.asis-japan.org)